

事務事業調査

平成27年度

事業No	440	課	環境首都推進課	係	環境保全係	起案者	稲垣典英
						決裁者	横山真澄
事務事業名		環境対策広域事業			事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	1 安全で循環型社会を築く環境づくり 1 環境の保全及び創造 1 協働による環境づくり 1 協働する体制づくり 2 広域連携の強化			予算科目(会計)	一般会計	
				予算科目(款・項・目)	20-10-20	
				総合計画以外の計画	環境基本計画	
				関連する総合計画の施策		
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの	
根拠法令	無					
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	無					
実施方法	一部委託	委託先	行政関連団体			
実施期間	開始	平成元年度	経過	26年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	市民が		~になる	河川事故等に際し、広域的な組織による対応が受けられます	
事務事業の内容	矢作川や三河湾等の水質を浄化するためには広域的な連携が不可欠です。そのため各種協議会等に加え、情報の共有化及び広域的啓発事業を展開します。					
改善・対策の履歴	総会等に積極的に参加し情報収集等に努めました。					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	2,155	2,155	2,155	2,155	2,155
財源計	895	895	895	895	895
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	895	895	895	895
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	1,260 (0.20)	1,260 (0.20)	1,260 (0.20)	1,260 (0.20)	1,260 (0.20)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト

			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	三河湾浄化推進協議会	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	回数(回)	活動の総事業費(千円)	534	534	504	
			活動にかかるコスト(千円)	534.00	534.00	504.00	
活動2	活動名 (活動内容)	矢作川沿岸水質保全対策協議会	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	回数(回)	活動の総事業費(千円)	1,369	1,369	504	
			活動にかかるコスト(千円)	1,369.00	1,369.00	504.00	
活動3	活動名 (活動内容)	安城市公害関係七者協担当者会議	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	回数(回)	活動の総事業費(千円)	252	252	252	
			活動にかかるコスト(千円)	252.00	252.00	252.00	

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	実践率(%)			目標	100.00	100.00	100.00	0.00
				実績	100.00	100.00	100.00	
	目標達成年度		目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成
成果2				目標				
				実績				
	目標達成年度		目標成果指標値		達成状況			

5 成果1、2以外の成果

成果	関係機関との連携により河川等への油等の流出事故の際に、情報共有することで円滑な対応をすることができました。
----	---

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	三河湾浄化推進協議会・矢作川沿岸水質保全対策協議会へ負担金を支出しています。
成果	情報収集等と共に関係機関との連携を図ることができました。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
矢作川や三河湾等の水質浄化の向上のため関係機関と連携を図るとともに情報収集等に努めます。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	関係各機関と連携・協力し、河川等の水質改善に積極的に取り組んでいきます。

事務事業調書

平成27年度

事業No	441	課	環境首都推進課	係	環境保全係	起案者	稲垣典英
						決裁者	横山真澄
事務事業名		環境教育事業			事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	1 安全で循環型社会を築く環境づくり 1 環境の保全及び創造 1 協働による環境づくり 2 環境教育・学習 3 学校における環境教育の推進			予算科目(会計)	一般会計	
				予算科目(款・項・目)	20-10-20	
				総合計画以外の計画	環境基本計画	
				関連する総合計画の施策		
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの	
根拠法令	無					
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	無					
実施方法	直営	委託先				
実施期間	開始	平成07年度	経過	20年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	子ども(幼児~中学生)が		~になる	環境学習を通して環境に関心を持つようになりす	
事務事業の内容	子どもたちの環境学習に必要な資材や情報を提供します。					
改善・対策の履歴	クリーンパス(小学4年生対象のごみに関する学習・施設見学)の引率教諭に、水生生物調査への参加やこどもエコクラブへの登録を呼びかけました。					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	1,872	1,717	1,955	728	910
財源計	297	142	380	98	280
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	297	142	380	98
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	1,575 (0.25)	1,575 (0.25)	1,575 (0.25)	630 (0.10)	630 (0.10)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト

		年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
活動1	活動名 (活動内容)	水生生物調査資材の提供	見込	15.00	15.00	15.00	15.00
			実績	6.00	7.00	6.00	
	指標名 (単位)	提供クラブ数(数)	活動の総事業費 (千円)	1,872	1,755	630	
			活動にかかるコスト (千円)	312.00	250.71	105.00	
活動2	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	こどもエコクラブ数(団体)			目標	28.00	28.00	29.00	29.00
				実績	21.00	4.00	7.00	
	目標達成年度	平成27年度	目標成果指標値	29.00	達成状況	未達成	未達成	未達成
成果2				目標				
				実績				
	目標達成年度		目標成果指標値		達成状況			

5 成果1、2以外の成果

成果	子どもたちが環境に関心を持ち、環境保全活動に参加する態度や能力を育成することができました。
----	---

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	当初予算を提供クラブ数確定後に減額補正したため単位コストは下がりました。
成果	小学校の運営方針変更により、こどもエコクラブの登録クラブ数は大きく減少しました。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
各小中学校等に対し、水生生物調査への参加及びこどもエコクラブへの登録をより一層働きかけていきます。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
縮小・統合	子どもに対する環境学習は小中学校の方針を優先し、市は教材のサポート等で支援する方向に転換します。

事務事業調書

平成27年度

事業No	442	課	環境首都推進課	係	環境保全係	起案者	稲垣典英
						決裁者	横山真澄
事務事業名		酸性雨モニタリング事業			事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	1 安全で循環型社会を築く環境づくり 1 環境の保全及び創造 2 地球環境 2 その他地球環境問題への対応 2 酸性雨対策			予算科目(会計)	一般会計
				予算科目(款・項・目)	20-10-20
				総合計画以外の計画	環境基本計画
				関連する総合計画の施策	
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの
根拠法令	無				
法定受託事務	無				
公約・議会答弁	無				
陳情・市民要望	無				
実施方法	一部委託	委託先	民間企業		
実施期間	開始	昭和60年度	経過	30年目	終了
求める成果(目的)	誰(受益者)が	市民が		~になる	酸性雨測定値等の情報により大気環境に関心を持つようになります
事務事業の内容	毎月1回降雨を採取し、酸性雨の状況をモニタリングします。				
改善・対策の履歴	平成22年度よりサンプリング採取容器の設置・回収は職員が行いました。				

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	741	736	857	739	846
財源計	111	106	227	109	216
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	111	106	227	109
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	630 (0.10)	630 (0.10)	630 (0.10)	630 (0.10)	630 (0.10)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト

		年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
活動1	活動名 (活動内容)	雨水イオン分析調査	見込	12.00	12.00	12.00	12.00
			実績	12.00	12.00	12.00	
	指標名 (単位)	採水回数(回)	活動の総事業費 (千円)	741	736	630	
			活動にかかるコスト (千円)	61.75	61.33	52.50	
活動2	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移

		指標名(単位)	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	報告回数(回)		目標	1.00	1.00	1.00	0.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成
成果2			目標				
			実績				
	目標達成年度	目標成果指標値		達成状況			

5 成果1、2以外の成果

成果	調査結果を県に報告することにより、県内各地域のデータと比較でき、安城市における酸性雨の状況がわかります。
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

		内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等
活動コスト	毎月1回のサンプリング採取容器の設置・回収は職員が行い、委託料のコスト削減に努めました。	
成果	酸性雨の降雨状況を公表することにより、大気汚染状況を広く情報提供できました。	

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
引き続き酸性雨の降雨状況を調査し、市民へ情報提供していきます。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	モニタリングを継続し、酸性雨の状況を公表していきます。

事務事業調書

平成27年度

事業No	443	課	環境首都推進課	係	環境保全係	起案者	稲垣典英
						決裁者	横山真澄
事務事業名	水質汚濁防止事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	1 安全で循環型社会を築く環境づくり 1 環境の保全及び創造 3 地域環境 1 公害防止 1 水質汚濁			予算科目(会計)	一般会計	
				予算科目(款・項・目)	20-10-20	
				総合計画以外の計画	環境基本計画	
				関連する総合計画の施策	1-3-2-4-3	
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの	
根拠法令	有	水質汚濁防止法、県民の生活環境の保全等に関する条例				
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	無					
実施方法	全部委託	委託先	民間企業			
実施期間	開始	平成元年度	経過	26年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	市民が	~になる	河川水質に係る情報により河川環境に関心を持つようになります		
事務事業の内容	市内主要12河川の水質調査を年5回、水質細密及び底質調査を年1回行い、河川の水質状況を分析します。油類を大量に保管・使用する工場等に、長期休業期(年3回)前に施設点検の啓発文書を送っています。					
改善・対策の履歴	定点調査により経年変化が分かるようにしました。					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	3,470	3,426	4,341	3,776	4,764
財源計	1,895	1,851	2,766	2,201	3,189
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	1,895	1,851	2,766	2,201
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	1,575 (0.25)	1,575 (0.25)	1,575 (0.25)	1,575 (0.25)	1,575 (0.25)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト

		年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
活動1	活動名 (活動内容)	河川水質細密・底質調査委託	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	委託料(一式)	活動の総事業費 (千円)	3,470	3,426	3,776	
			活動にかかるコスト (千円)	3,470.00	3,426.00	3,776.00	
活動2	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	環境基準達成率(%)			目標	71.00	71.00	79.00	0.00
				実績	100.00	92.30	100.00	
	目標達成年度	平成26年度	目標成果指標値	79.00	達成状況	達成	達成	達成
成果2				目標				
				実績				
	目標達成年度		目標成果指標値		達成状況			

5 成果1、2以外の成果

成果	市内各所で河川の清掃活動が行われるようになり、市民の河川への関心が広まったと考えられます。
----	---

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	採水、分析及び報告書作成を業者に委託しましたが、入札により単位コストは前年度と同程度でした。
成果	類型指定のある6河川について13項目の水質環境基準を測定しました。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
引き続き河川の水質調査を継続し、水質の監視に努めます。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	河川の水質浄化を図るため、合併処理浄化槽に切り替えたり下水道に接続するよう働きかけをしていきます。

事務事業調書

平成27年度

事業No	444	課	環境首都推進課	係	環境保全係	起案者	稲垣典英
						決裁者	横山真澄
事務事業名	大気汚染防止事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	1 安全で循環型社会を築く環境づくり 1 環境の保全及び創造 3 地域環境 1 公害防止 2 大気汚染			予算科目(会計)	一般会計	
				予算科目(款・項・目)	20-10-20	
				総合計画以外の計画	環境基本計画	
				関連する総合計画の施策		
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの	
根拠法令	有	大気汚染防止法、県民の生活環境の保全等に関する条例				
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	無					
実施方法	一部委託	委託先	民間企業			
実施期間	開始	平成元年度	経過	26年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	市民が		~になる	大気汚染測定情報等により大気環境に関心を持つようになります	
事務事業の内容	大気汚染物質の常時監視・測定を行います。					
改善・対策の履歴	平成20年度に西部公民館設置の大気測定局を中部電力㈱から無償で譲り受け、市の測定局として測定をするようにしました。 平成22年度に始まった県の光化学スモッグ情報に係るメール配信サービスを利用し、市民や市の関係施設等へ迅速に情報を提供するようにしました。 平成23年度よりPM2.5の測定を開始しました。					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	7,976	6,513	8,021	7,199	6,796
財源計	6,401	4,938	6,446	5,624	5,221
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	6,401	4,938	6,446	5,624
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	1,575 (0.25)	1,575 (0.25)	1,575 (0.25)	1,575 (0.25)	1,575 (0.25)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト

			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	大気汚染状況の常時監視	見込	365.00	365.00	365.00	365.00
			実績	223.00	118.00	307.00	
	指標名 (単位)	測定日数(日)	活動の総事業費 (千円)	7,661	6,198	6,884	
			活動にかかるコスト (千円)	34.35	52.53	22.42	
活動2	活動名 (活動内容)	指導と啓発	見込	2.00	2.00	2.00	2.00
			実績	2.00	2.00	2.00	
	指標名 (単位)	回数(回)	活動の総事業費 (千円)	315	315	315	
			活動にかかるコスト (千円)	157.50	157.50	157.50	
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	環境基準達成率(%)			目標	94.00	94.00	97.00	0.00
				実績	90.00	82.00	82.00	
	目標達成年度	平成26年度	目標成果指標値	97.00	達成状況	未達成	未達成	未達成
成果2				目標				
				実績				
	目標達成年度		目標成果指標値		達成状況			

5 成果1、2以外の成果

成果	測定値は、その日に市役所北庁舎1階に設置してあるモニターに表示され、市民に情報提供しています。
----	---

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	平成26年度は、測定日数が改善されましたので、単位コストは減少しています。 なお、職員により可能な維持管理を行うことによりコスト削減に努めました。
成果	光化学オキシダントは環境基準を達成しませんでした。県と連携して光化学スモッグ発生時の市民や市の関係施設等への情報提供体制を整えました。 大気に関する苦情のほとんどは野焼きでしたが、清掃だよりで野焼きについて周知しました。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
欠測日数を減らすよう自動監視装置の適正な維持管理に努めます。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	公害防止対策のため大気汚染の監視・測定を継続し、測定値等を公表していきます。

事務事業調書

平成27年度

事業No	445	課	環境首都推進課	係	環境保全係	起案者	稲垣典英
						決裁者	横山真澄
事務事業名		騒音・振動防止事業			事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	1 安全で循環型社会を築く環境づくり 1 環境の保全及び創造 3 地域環境 1 公害防止 3 騒音・振動			予算科目(会計)	一般会計	
				予算科目(款・項・目)	20-10-20	
				総合計画以外の計画	環境基本計画	
				関連する総合計画の施策		
				性質区分	法律などで実施が義務付けられているもの	
根拠法令	有	騒音規制法、振動規制法、県民の生活環境の保全等に関する条例				
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	無					
実施方法	一部委託	委託先	民間企業			
実施期間	開始	平成元年度	経過	26年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	市民が	~になる	騒音振動等の情報により振動騒音に関心を持つようになります		
事務事業の内容	国道等の市内主要道路の自動車交通騒音と道路交通振動を継続的に監視・測定します。					
改善・対策の履歴	定点測定により経年変化が分かるようにしました。					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	3,022	2,839	3,401	2,856	3,357
財源計	1,132	949	1,511	966	1,467
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	1,132	949	1,511	966
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	1,890 (0.30)	1,890 (0.30)	1,890 (0.30)	1,890 (0.30)	1,890 (0.30)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト

		年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
活動1	活動名 (活動内容)	交通量調査・自動車騒音 常時監視委託	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	委託料(一式)	活動の総事業費 (千円)	3,022	2,839	1,890	
			活動にかかるコスト (千円)	3,022.00	2,839.00	1,890.00	
活動2	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	環境基準達成率(%)			目標	94.00	94.00	97.00	0.00
				実績	100.00	100.00	100.00	
	目標達成年度	平成26年度	目標成果指標値	97.00	達成状況	達成	達成	達成
成果2				目標				
				実績				
	目標達成年度		目標成果指標値		達成状況			

5 成果1、2以外の成果

成果	市内の自動車交通騒音及び道路交通振動の状況を把握できました。また、平成24年度から、県からの権限移譲に伴う国道等主要幹線道路の自動車騒音常時監視に係る面的評価を行いました。
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	自動車騒音常時監視実施に伴う単位コストの増加について、その他の騒音測定の一部と振動測定を職員が行うことによりコスト削減に努めましたが、まだ実施以前のコストに達していません。
成果	環境騒音については環境基準を達成しました。また、自動車交通騒音及び道路交通振動については要請限度を超過しませんでした。 自動車騒音常時監視については国道等主要幹線道路で面的評価を行いました。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
引き続き自動車交通騒音・振動に係る測定結果の情報提供に努めます。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	公害防止対策のため自動車交通騒音・振動の監視・測定を継続し、測定値等を公表していきます。

事務事業調査

平成27年度

事業No	446	課	環境首都推進課	係	環境保全係	起案者	稲垣典英
						決裁者	横山真澄
事務事業名					事業種別	市民サービス	
土壌汚染防止事業							

1 事業概要

総合計画体系	1 安全で循環型社会を築く環境づくり 1 環境の保全及び創造 3 地域環境 1 公害防止 4 土壌汚染			予算科目(会計)	一般会計	
				予算科目(款・項・目)	20-10-20	
				総合計画以外の計画	環境基本計画	
				関連する総合計画の施策		
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの	
根拠法令	有	土壌汚染対策法、県民の生活環境の保全等に関する条例				
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	無					
実施方法	全部委託	委託先	民間企業			
実施期間	開始	平成元年度	経過	26年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	市民が		~になる	土壌汚染情報等の提供により土壌汚染に関心を持つようになります	
事務事業の内容	有害物質による土壌汚染の影響は、人の健康や生活環境・生態系への影響などが考えられます。そのため土壌汚染の状況を把握するために土壌汚染の調査を行います。					
改善・対策の履歴	定点測定により経年変化が分かるようにしました。					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	1,402	1,434	1,884	1,406	1,884
財源計	142	174	624	146	624
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	142	174	624	146
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	1,260 (0.20)	1,260 (0.20)	1,260 (0.20)	1,260 (0.20)	1,260 (0.20)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト

			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	土壌汚染調査委託	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	委託料(一式)	活動の総事業費 (千円)	1,402	1,434	1,260	
			活動にかかるコスト (千円)	1,402.00	1,434.00	1,260.00	
活動2	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	環境基準達成率(%)			目標	94.00	94.00	97.00	0.00
				実績	100.00	100.00	100.00	
	目標達成年度	平成26年度	目標成果指標値	97.00	達成状況	達成	達成	達成
成果2				目標				
				実績				
	目標達成年度		目標成果指標値		達成状況			

5 成果1、2以外の成果

成果	市内10地点の土壌を調査することにより、土壌汚染の有無の確認と市内各所の土壌汚染に係るデータが毎年蓄積されていきます。
----	---

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	単位コストは前年度と同程度でした。
成果	土壌汚染調査の結果、問題は見られませんでした。また、土壌汚染の調査結果を公表することにより、現状について広く情報提供することができました。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
引き続き調査を継続し、データ収集と情報提供に努めます。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	公害防止対策のため調査を継続し、測定値等を公表していきます。

事務事業調査

平成27年度

事業No	447	課	環境首都推進課	係	環境保全係	起案者	稲垣典英
						決裁者	横山真澄
事務事業名	悪臭防止事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	1 安全で循環型社会を築く環境づくり 1 環境の保全及び創造 3 地域環境 1 公害防止 5 悪臭			予算科目(会計)	一般会計	
				予算科目(款・項・目)	20-10-20	
				総合計画以外の計画	環境基本計画	
				関連する総合計画の施策		
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの	
根拠法令	有	悪臭防止法、県民の生活環境の保全に関する条例				
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	無					
実施方法	全部委託	委託先	民間企業			
実施期間	開始	平成元年度	経過	26年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	市民が		~になる	悪臭測定値情報等の提供により悪臭に関心をもつようになります	
事務事業の内容	悪臭苦情に対する指導資料とするため臭気指数の測定をします。また、工場・事業場等に適正な施設の維持管理等の指導をします。					
改善・対策の履歴	平成22年度に公害防止協定締結事業所を対象に調査を行い、悪臭防止対策が適正に行われているか確認しました。					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	1,397	1,397	1,500	1,400	1,847
財源計	137	137	240	140	587
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	137	137	240	140
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	1,260 (0.20)	1,260 (0.20)	1,260 (0.20)	1,260 (0.20)	1,260 (0.20)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト

			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	臭気調査委託	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	委託料(一式)	活動の総事業費 (千円)	1,397	1,260	1,260	
			活動にかかるコスト (千円)	1,397.00	1,260.00	1,260.00	
活動2	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	規制基準遵守率(%)			目標	100.00	100.00	100.00	0.00
				実績	100.00	100.00	100.00	
	目標達成年度		目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成
成果2				目標				
				実績				
	目標達成年度		目標成果指標値		達成状況			

5 成果1、2以外の成果

成果	工場3地点で測定を行い、悪臭の実態を把握することができました。
----	---------------------------------

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	測定箇所を職員が選定して、資料採取、分析及び報告書作成を業者に委託しましたが、入札により単位コストは前年度と同程度でした。
成果	悪臭調査の結果、3地点すべてで規制基準に適合していました。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
公害防止協定締結事業所を対象とした調査を行い、臭気防止対策が適正に行われているか確認していきます。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	都市部と農村部が混在化してきて悪臭に対し敏感となってきているため、臭気調査を継続し、測定値等を公表していきます。

事務事業調書

平成27年度

事業No	448	課	環境首都推進課	係	環境保全係	起案者	稲垣典英
						決裁者	横山真澄
事務事業名		有害化学物質測定事業			事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	1 安全で循環型社会を築く環境づくり 1 環境の保全及び創造 3 地域環境 1 公害防止 1 水質汚濁			予算科目(会計)	一般会計	
				予算科目(款・項・目)	20-10-20	
				総合計画以外の計画	環境基本計画	
				関連する総合計画の施策	1-1-3-1-4	
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの	
根拠法令	無					
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	無					
実施方法	全部委託	委託先	民間企業			
実施期間	開始	平成元年度	経過	26年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	市民が		~になる	ダイオキシン類の情報提供により有害物質に関心を持てます	
事務事業の内容	河川の水質・底質及び土壌に含まれるダイオキシン類の継続的監視・測定を行います。					
改善・対策の履歴	河川は定点測定により経年変化が分かるようにしました。土壌の調査地点は市内で偏りがないよう設定してデータの蓄積を図っています。					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	1,384	1,505	1,723	1,718	2,037
財源計	439	560	778	458	777
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	439	560	778	458
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	945 (0.15)	945 (0.15)	945 (0.15)	1,260 (0.20)	1,260 (0.20)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト

			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	ダイオキシン類調査委託	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	委託料(一式)	活動の総事業費 (千円)	1,384	1,505	1,260	
			活動にかかるコスト (千円)	1,384.00	1,505.00	1,260.00	
活動2	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	公表回数(回)			目標	1.00	1.00	1.00	0.00
				実績	1.00	1.00	1.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成	
成果2	環境基準達成率(%)			目標	94.00	94.00	97.00	0.00
				実績	100.00	100.00	100.00	
	目標達成年度	平成26年度	目標成果指標値	97.00	達成状況	達成	達成	達成

5 成果1、2以外の成果

成果	市内の河川3地点と土壌3地点でダイオキシン類を調査することにより、汚染の有無を確認することができます。河川については定点を決めており、概ね4年で市内の11河川の調査をすることができます。
----	---

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	資料採取、分析及び報告書作成を業者に委託、入札額上昇により単位コストは前年度より増加しました。
成果	ダイオキシン類調査の結果、環境基準の設定されている水質、土壌については、いずれも環境基準を達成しました。また、ダイオキシン類の調査結果を公表することにより、現状について広く情報提供することができました。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
引き続き調査を継続し、データ収集と情報提供に努めます。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	公害防止対策のため調査を継続し、測定値等を公表していきます。

事務事業調査

平成27年度

事業No	449	課	環境首都推進課	係	環境保全係	起案者	稲垣典英
						決裁者	横山真澄
事務事業名		生活排水対策実践事業			事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	1 安全で循環型社会を築く環境づくり 3 水循環 2 水質浄化 3 市民意識の啓発 1 生活排水対策モデル事業の推進			予算科目(会計)	一般会計	
				予算科目(款・項・目)	20-10-20	
				総合計画以外の計画	環境基本計画	
				関連する総合計画の施策		
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの	
根拠法令	有	水質汚濁防止法、県民の生活環境の保全等に関する条例				
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	無					
実施方法	一部委託	委託先	民間企業			
実施期間	開始	昭和63年度	経過	27年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	市民が		~になる	水質浄化の実践活動により、排水浄化に関心を持つようになります	
事務事業の内容	下水道認可区域以外の地区を中心に生活排水対策モデル地区を選定し、学習会を実施して実践活動を行ってもらうことにより、水質汚濁の大きな原因となる生活排水の改善に取り組んでもらい水質の浄化を目指します。生活排水クリーン推進員を市民に依頼し、住民の生活環境の保全に協力していただいています。					
改善・対策の履歴	学習会で使う説明用資料(スライド)は前回学習会を踏まえてより分かりやすいものになるよう毎年改善を加えています。環境への負荷が少ない洗剤を紹介するなど、身近に実践できる事案を取り上げています。					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	2,703	2,360	5,497	2,950	2,605
財源計	1,443	1,100	4,237	1,060	715
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	1,443	1,100	4,237	1,060
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費(従事職員数)	1,260 (0.20)	1,260 (0.20)	1,260 (0.20)	1,890 (0.30)	1,890 (0.30)
人事課予算分人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト

		年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
活動1	活動名 (活動内容)	生活排水対策モデル地区 学習会	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	2.00	
	指標名 (単位)	開催回数(回)	活動の総事業費 (千円)	2,368	945	1,575	
			活動にかかるコスト (千円)	2,368.00	945.00	787.50	
活動2	活動名 (活動内容)	生活排水クリーン推進員	見込	8.00	8.00	8.00	8.00
			実績	8.00	8.00	8.00	
	指標名 (単位)	人数(人)	活動の総事業費 (千円)	335	335	315	
			活動にかかるコスト (千円)	41.88	41.88	39.38	
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	生活排水モデル事業実施町内会数(町内会)			目標	25.00	26.00	27.00	28.00
				実績	25.00	26.00	27.00	
	目標達成年度	平成27年度	目標成果指標値	28.00	達成状況	達成	達成	達成
成果2				目標				
				実績				
	目標達成年度		目標成果指標値		達成状況			

5 成果1、2以外の成果

成果	生活排水対策モデル地区に指定した町内において、生活排水に対する意識が向上しました。アンケートの集計結果では6割の方が「関心が増した」と答えています。
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	学習会の説明資料は職員が創意工夫により分かりやすいものを作成し、コストの削減に努めました。
成果	平成26年度は藤野地区を対象にしたため、河島町と村高町の2町内会で実施し、学習会と実践活動を通して生活排水に対する意識が向上したことがアンケート結果から分かりました。また、生活排水に対する意識や要望等を把握することができました。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案	
学習会の内容に合併処理浄化槽の内容を加え、浄化槽の適正な維持管理についての情報提供に努めます。	

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	河川・湖沼の水質汚濁の主な原因は生活排水であることを認識してもらうため、水質浄化のための実践的な学習機会としていきます。

事務事業調査

平成27年度

事業No	450	課	環境首都推進課	係	環境保全係	起案者	稲垣典英
						決裁者	横山真澄
事務事業名		油ヶ淵水質浄化事業			事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	1 安全で循環型社会を築く環境づくり 3 水循環 2 水質浄化 4 油ヶ淵 3 河川対策			予算科目(会計)	一般会計	
				予算科目(款・項・目)	20-10-20	
				総合計画以外の計画	環境基本計画	
				関連する総合計画の施策		
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの	
根拠法令	無					
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	無					
実施方法	直営	委託先				
実施期間	開始	平成04年度	経過	23年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	市民が		~になる	水質浄化活動に参加することで油ヶ淵の水質浄化意識が高まります	
事務事業の内容	油ヶ淵の水質浄化を図るため、県及び周辺4市と連携し、水質浄化のための実践活動・啓発活動を行います。7月下旬に地元団体を中心とした「油ヶ淵浄化デー」を実施、10~11月に4市持ち回りで「アクション油ヶ淵」を開催・参加しています。					
改善・対策の履歴	油ヶ淵浄化デーには関係町内の住民だけではなく、周辺の事業所にも参加していただけるよう周知しました。					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	1,612	1,747	1,985	2,529	2,665
財源計	352	487	725	639	775
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	352	487	725	639
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費(従事職員数)	1,260 (0.20)	1,260 (0.20)	1,260 (0.20)	1,890 (0.30)	1,890 (0.30)
人事課予算分人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト

			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	油ヶ淵浄化デー	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	開催回数(回)	活動の総事業費 (千円)	630	630	1,260	
			活動にかかるコスト (千円)	630.00	630.00	1,260.00	
活動2	活動名 (活動内容)	アクション油ヶ淵	見込	1.00	1.00	1.00	0.00
			実績	1.00	1.00	0.00	
	指標名 (単位)	開催回数(回)	活動の総事業費 (千円)	982	982	630	
			活動にかかるコスト (千円)	982.00	982.00	0.00	
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	公表回数(回)			目標	1.00	1.00	1.00	0.00
				実績	1.00	1.00	1.00	
	目標達成年度		目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成
成果2				目標				
				実績				
	目標達成年度		目標成果指標値		達成状況			

5 成果1、2以外の成果

成果	町内会の協力により清掃活動を行うので多数の参加があり、油ヶ淵や流入河川の水質浄化に対する意識の高揚を図ることができました。平成25年度の「油ヶ淵浄化デー」には10団体、約1500名の参加がありました。
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	県と関係4市が協働することにより効果的な活動を行うことができました。
成果	平成26年度は東端町内会と根崎町内会、明和小学校並びに周辺の事業所に協力していただき油ヶ淵と半場川、長田川の清掃を行いました。清掃活動を通して河川の水質浄化に対する意識の高揚と生活環境の保全に関する啓発が図られました。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
油ヶ淵浄化デーに参加する事業所が増えるよう働きかけていきます。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	県と関係4市との連携を更に深め、油ヶ淵や流入河川の浄化に努めていきます。